

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：国道・防災課

担当課長名：中島威夫

事業名	一般国道445号 <small>いづみ さがら</small> 泉～相良バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	熊本県
起終点	<small>くまもとけんやつしるぐんいづみむらしいばる</small> 自：熊本県八代郡泉 村椎原 <small>くまもとけんくまぐんいつきむらおおひら</small> 至：熊本県球磨郡五木村大平	延長	10.0 km		
事業概要	国道445号は、熊本県熊本市から人吉市に至る全長約150.3kmの幹線道路である。本事業は川辺川ダム及び五木ダム事業と関連することから、河川及び道路費とで費用負担を行い、道路整備を実施している延長10.0kmの2車線道路である。				
S57年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	S57年度用地着手	S57年度工事着手		
全体事業費	53億円	事業進捗率	51%	供用済延長	4.8km
計画交通量	900台/日				
費用対効果 分析結果	B/C： (事業全体)  (残事業)  1.5	総費用：(残事業)/(事業全体) 62/ 億円 (事業費：62 / 億円 維持管理費：0 / 億円)	総便益：(残事業)/(事業全体) 93/ 億円 (走行時間短縮便益：90/ 億円 走行費用減少便益：3/ 億円 交通事故減少便益：0/ 億円)	基準年： 平成15年	
事業の効果等	・国土・地域ネットワークの構築(現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する。) ・災害への備え(現道等の事前通行規制区間を解消する。)				
関係する地方公共団体等の意見	国道445号は地域の交流促進、地域文化経済の発展のため重要な幹線道路であることから、関係1市11町村の首長で構成される一般国道445号道路整備促進期成会より早期整備の要望(平成15年11月25日)を受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	前回の再評価時点での交通量は約1,200台/12h(H2交通セナ)であったが、現在では約1,800台/12h(H11セナ)と増加している。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地補償交渉が難航しているものの、現在までに約4.8kmを部分供用している。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	用地補償交渉が難航しているところもあるが、引き続き交渉を行い、道路整備の必要性・重要性が十分あるため、事業進捗を図っていく。				
施設の構造や工法の変更等	特になし				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	『再評価監視委員会議論の概要及び付帯意見』国道445号は各地域間の交流促進を図り、地域の生活道路として重要な路線である。しかし、現道は離合さえも困難なほど幅員が狭いことから、事業期間の短縮に伴う効果を意識して早期完成に努めること。				
事業概要図					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。